ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

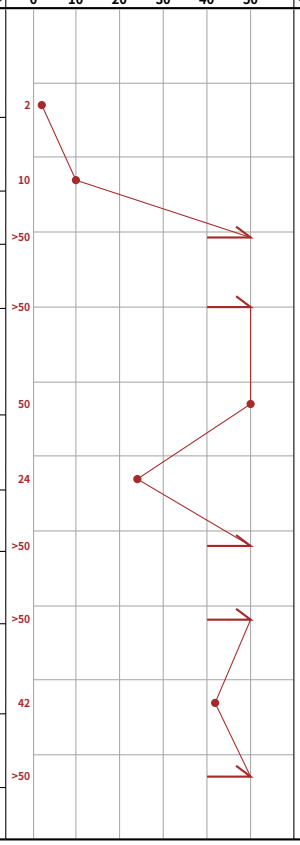
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	NO.B1-1	調査位置				北　緯	37 ° 03 ' 21.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所 整備部			調査期間	2009-10-08 ～ 2009-11-16	東　経	139 ° 54 ' 15.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	1097.50 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 50.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	10.44 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	1096.00	1.50	1.50		シルト質砂礫 (GSM)	暗褐		中位	礫径10から50mm主体。間隙にシルト分を含む粗粒砂充填。含水比は下位。土質乱れる。17cm玉石介在。		
2	1094.05	1.95	3.45		粘土質砂礫 (GSC)	暗褐灰	緩い		礫径10から50mm主体。間隙に粘土分を多く含む粗粒砂1.70mより礫径10から80mmの礫質土主体。含水比は下位から中位。		
3	1092.75	1.30	4.75		礫岩 (Cg)	暗緑灰	非常に密な		コアは柱状となる。4.05m迄岩質硬く、以下はやや脆い。亀裂少ない。コア中に礫径10から50mm混入。		
4	1092.00	0.75	5.50		凝灰質風化礫岩 (Cg)	暗灰			コアは粘土質礫状。脆く手で割れる。含水比は下位から中位。固結状となる。		
5	1091.50	0.50	6.00		礫岩 (Cg)	暗緑灰			コアは柱状。岩質やや脆い。含水比は中位。亀裂少ない。		
6	1090.40	1.10	7.10		風化岩 (WR)	褐灰			コアは礫混じり固結粘土状。密で礫径10から30mm多い。手で折れる。含水比は下位から中位。		
7	1087.06	3.34	10.44		凝灰質風化礫岩 (Cg)	暗緑灰	密な		コアは礫・岩片状コア主体。コア長5から12cmの硬い片状コア点在。含水比は下位から中位。8.30mより全体に風化進み、凝灰質を帯びる。9.50mより固結粘土混じり礫状となる。全体的に密で締まる。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／20	1／12		2／32	2
1.47					
2.15	3	3	4	10／30	10
2.45					
3.00	28	22／7		50／17	>50
3.17					
4.00	50／2			50／2	>50
4.02					
5.15	15	18	17	50／30	50
5.45					
6.15	6	8	10	24／30	24
6.45					
7.15	32	18／2		50／12	>50
7.27					
8.15	50／9			50／9	>50
8.24					
9.15	10	13	19	42／30	42
9.45					
10.15	10	13	27／9	50／29	>50
10.44					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		5.50	1-1	A	三軸	10/22
		5.90				10/23